

B 班 石塚 三部 土屋 宮越

北岡孝義『スウェーデンはなぜ強いのか〜国家と企業の戦略を探る』

PHP 研究所 (PHP 新書)、2010 年

## ① 目次

はしがき

第1章 今日のスウェーデン

第2章 高度成長期の苦悩とスウェーデン・モデルの誕生

第3章 スウェーデンの企業 - H&M とイケアに見るスウェーデンの企業戦略

第4章 新しい福祉政策と年金改革 - 持続可能な制度の構築に向けて

第5章 成長戦略としての福祉

終章 スウェーデンから何を学ぶか

## ② 著者紹介

北岡孝義 きたおか たかよし

1997 年 神戸大学大学院博士後期課程中退。経済学博士。

2000 年 広島大学経済学部教授を経て、現職の明治大学商学部教授に。専攻は金融・ファイナンスの実証分析。

2003 年 インフレ・ターゲティング政策の研究でスウェーデン中央銀行 (Riksbank) を訪れて以来、たびたび同国を訪問。

2005 年 スウェーデンの 1930 年代の物価安定政策の研究のため、訪問研究員として ECLS (Stockholm School of Economics 所属研究所) に滞在した。

## ③ 選定理由

- 1) 高負担高福祉のように漠然としたイメージのスウェーデンについて、そもそもどういう国なのか、またその国民性はどういうものなのかを明らかにする。
- 2) 現在のスウェーデン・モデルが誕生したきっかけを明らかにする。
- 3) スウェーデンは福祉政策や税制度、企業戦略において日本とは大きく異なるため具体的に何が違うのか、またそれらのメリットやデメリットを明示する。
- 4) 最終的には本書の内容を踏まえ、日本がスウェーデンから何を学ぶべきか、また現在のアベノミクスの戦略や年金制度、税制度について議論できることを目指す。

以上